

安全健康 経営白書 2023

オーエスジー株式会社

人事総務部総務グループ
安全健康推進事務局



CONTENTS

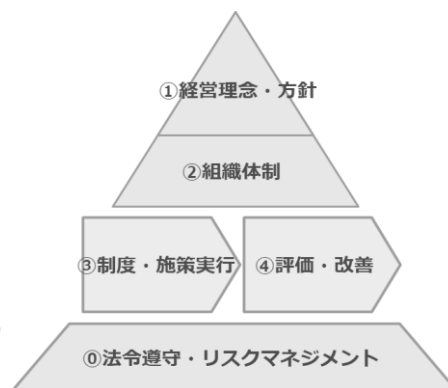
会社概要 トップメッセージ	-----2
安全健康経営の理念 オーエスジー経営基本方針 オーエスジー安全健康経営宣言	-----3
安全健康経営に対する中期経営目標（2022-2024年） 安全健康経営サポート体制 安全健康経営推進マネジメント体制	-----4
全社安全衛生委員会構成 安全健康推進事務局 安全健康の深化	-----5
安全健康推進教育体制 認定と参画 サプライチェーンやグループ会社に対する安全健康の取組	-----6
ウェルビーイングを追求した安全と健康戦略マップ	-----7
安全活動 社員を守る活動	-----8
衛生活動 社員が元気になる活動	-----13
社会活動 社会貢献する活動	-----17
安全健康推進事務局だより 2023	-----19
データベース	-----20

編集方針

オーエスジーは、2021年度から安全健康に関する詳細情報をステークホルダーの皆様
提供することを目的に、5つの側面で「安全健康経営白書」を発行いたしました。

- ①経営理念・方針
- ②組織体制
- ③制度・施策実行
- ④評価・改善
- ⑤法令遵守・リスクマネジメント

オーエスジーは、労働安全衛生法に基づき安全衛生管理の
体制を構築し、実施をしています。



会社名	オーエスジー株式会社
本社	〒442-8543 愛知県豊川市本野ヶ原三丁目22番地 TEL : (0533) 82-1111 (代表)
代表者	代表取締役会長 石川 則男 代表取締役社長 大沢 伸朗
設立	1938年3月26日
資本金	130億44百万円
売上高	連結 142,525 百万円 / 単独 56,956 百万円
従業員	連結 7,543 名 / 単独 1,899 名
事業内容	切削工具・転造工具・測定工具・工作機械・機械部品の製造販売、工具の輸入販売
HP	https://www.osg.co.jp/

トップメッセージ



shaping your dreams

～ 豊かな未来づくりと、地球・社会との共存へのチャレンジ ～

オーエスジーは1938年設立以来、精密切削工具の製造・開発に取り組んで参りました。人々が便利さを感じ、経済面や環境面で安定して生活をしていくためには産業と技術の革新は欠かせません。一方で、近年は効率性や利便性の追求だけでなく、地球環境などにも配慮したサステナブルな社会づくりへの取り組みも大変重要な経営課題となってきました。

2022年1月、当社は2022年11月期を起点とする3か年の中期経営計画「Beyond the Limit 2024」を発表しました。「Beyond the Limit」という言葉には、「限界の向こうへ、限界を設けない、自らの殻を破る、常識を打破する」という決意を込めています。2030年11月期までを期間とする長期ビジョンにおいては、世界のモノづくり産業に貢献するエッセンシャル・プレーヤーとして、カーボンニュートラル時代に本格的に移行する2030年を見据え、いかなる変化にも対処しうる盤石な企業体質の構築を目指します。不確実性の多いこのVUCA*時代だからこそ、更なる成長を目指していくために「地球会社」という企業理念のもと、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

安全健康経営の理念

オーエスジは、1996年「地球会社」「健康会社」「環境に優しい会社」を宣言し、2014年には「OSGブランド」の目指す姿を「shaping your dreams」（お客様の夢をカタチに）の言葉に託し、タグラインとしました。社員ひとりひとりが「明るく」「楽しく」「元気よく」日々仕事に取り組む環境づくり、そして、「企業は社会の公器である」を理念に、地域・社会・地球の持続的発展に貢献することが豊かな未来づくりと考えています。創立100周年にむけて、さらに強く輝く「地球会社」として、人づくり・モノづくりをとおし、人・社会・地球のウェルビーイングを追求し、夢をかたちにしていきます。

オーエスジ経営基本方針

- ・企業は社会の公器であることを常に自覚し、顧客に喜ばれる製品を提供します。
- ・社員には、職場の適正配置と生活の向上を図ります。
- ・株主には適正な安定配当を行うように努めます。
- ・社会的な信頼を高めつつ堅実な経営を行い、世界的企業に発展するように努めます。

オーエスジ安全健康経営宣言

社員のウェルビーイングを追求し、社員本人・家族・お客様・地域・社会・地球の豊かな未来づくりに貢献します。

ひとりひとりすべての社員が生き活きと活躍できる職場環境づくり。
その先には、きっと素晴らしい未来が広がると信じています。
オーエスジは、ひとりひとりをしっかりと後押しができる企業であり続けたいと考えています。



▶安全健康経営に対する中期経営目標（2022-2024年）

中期経営計画「Beyond the Limit2024」戦略のもと、ひとりひとりのウェルビーイングを追求することにより、生産性を向上させ中期経営目標を達成します。

2024年11月期目標：ROA（営業利益ベース）15% 営業利益 300億円

・中期経営計画において選定した重要課題（マテリアリティ）

<p>気候変動への取り組み</p> <p>TCFDへ賛同を表明し、気候変動による事業影響への適応に努めると共に、脱炭素社会へ寄与する事業活動の推進や、温室効果ガス排出量削減に取り組んでいます。</p> 	<p>働きがいのある職場環境の整備</p> <p>社員一人ひとりが誇りとやりがいを持ち、多様性を活かして、能力を最大限発揮できる環境を整備します。</p> 	<p>障がい者雇用への取り組み</p> <p>特例子会社設立という将来像を描き、2021年6月に「特例子会社準備チーム」を設立しました。共に働く社員として、障がい者の適性や症状に配慮し、働ける環境を整備しています。</p> 	<p>安全健康経営</p> <p>「健康会社」として、従業員の安全・健康であることを重要な経営課題ととらえ、「従業員の健康増進」「快適で安全な職場環境づくり」を推進します。</p> 
<p>地域社会の持続的発展① スポーツ振興への取り組み</p> <p>東三河プロバスケットチーム「三遠ネオフェニックス」のトップスポンサーとして地元プロスポーツを応援しています。 また、無料観戦招待イベントを開催し、地域活性化にも一役買っています。</p> 	<p>地域社会の持続的発展② 医療機関・施設への応援</p> <p>新型コロナウイルス対応への応援として、医療従事者へ防護服やマスクの寄付や、近隣地域の職域接種の運営に協力しました。 障がい者支援施設へ什器等の備品を定期的に寄贈するなど、あたたかい地域づくりに貢献しています。</p> 	<p>コーポレートガバナンスの充実</p> <p>取締役会は独立性の社外取締役が過半数を占め、経営監督機能を十分に発揮できる体制となっていることに加え、多様性の観点から2月開催の株主総会で女性1名を社外取締役候補者としております。コーポレートガバナンスを充実させる仕組みとして、全グループで企業倫理遵守の行動指針を共有し、意識向上を図っています。</p> 	<p>サステナブルファイナンス</p> <p>KPI達成状況をモニタリングし情報開示するために、「ESG評価型資金調達」を契約。また、投資に関わる資金調達の際には、「サステナビリティリンクローン」「グリーンボンド」等のサステナブルファイナンスの導入を検討し、ESG/SDGs経営の高度化に尽力します。</p> 

出典元：OSG公式HP 中期経営計画「Beyond the Limit 2024」（2022年11月期～2024年11月期）

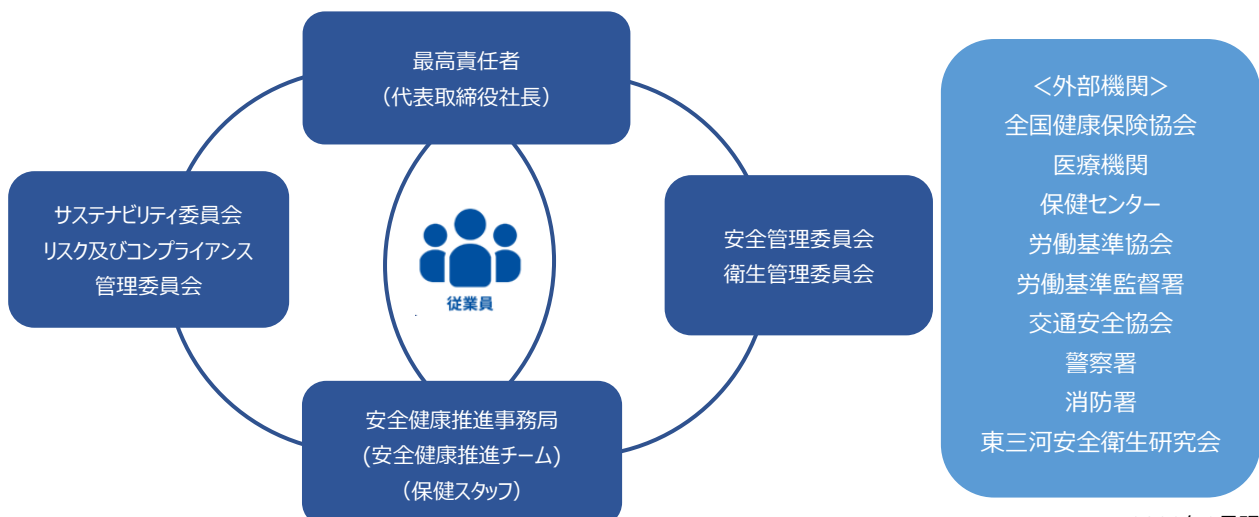
▶安全健康経営サポート体制

職場のヒヤリや災害状況、健康診断、ストレスチェックをはじめとする様々なデータの活用とともに日々変化していく課題を幅広く収集し、安全健康経営の取り組みを行っています。

産業医 2名（外部）	保健師 3名
産業カウンセラー 1名（外部）	管理栄養士 1名（外部）
安全管理者 12名	第一種衛生管理者 14名
安全健康推進事務局 6名	

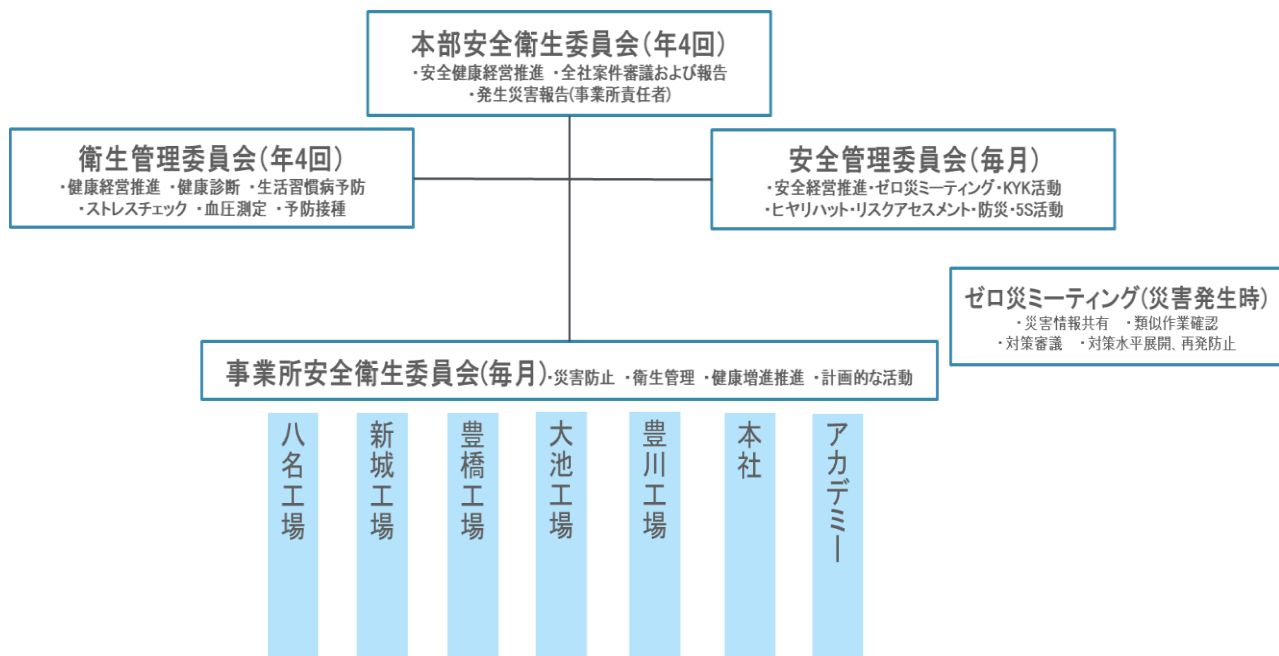
▶安全健康経営推進マネジメント体制

経営トップの安全健康経営に対する方針のもと、安全健康推進事務局と各事業所の安全・衛生事務局、職場、産業医などの専門スタッフ一体となり、活動を推進しています。また、外部機関とも協力し、活動に対する評価・効果の検証を実施しています。



2023年9月現在

▶ 全社安全衛生委員会構成



▶ 安全健康推進事務局

安全および衛生の有資格者、社内保健師が在籍しています。

各事業所、人事および経営陣とも連携し、社員の安全・健康のための活動をしています。



安全健康推進チーム



保健師

事務局保有資格：安全管理者・第一種衛生管理者・RST・保健師・健康経営アドバイザー
健康経営EXアドバイザー・スポーツフードアドバイザー・食育アドバイザー

▶ 安全健康の深化

1938年	創業	大沢秀雄が東京に大沢螺子研削所を設立
1996年	58周年	「地球会社」「健康会社」「環境にやさしい会社」を宣言 就業時間中、全面禁煙化
2001年		安全リスクアセスメント活動開始
2002年		安全衛生全社員教育開始
2007年		災害発生時に迅速なゼロ災ミーティング開始
2016年		安全体感研修開始
2020年		新型コロナウイルス感染症発生 新型コロナワクチン職域接種開始
2021年		「オーエスジー安全健康経営」を宣言
2022年		厚生労働省 愛知労働局「危なさに向き合おう」活動開始 「オーエスジー安全健康経営白書 2022」を発刊
2023年	85周年	厚生労働省 安全衛生優良企業認定取得 経済産業省 健康経営優良法人取得 「オーエスジー新型コロナウイルス収束」を宣言

▶安全健康推進教育体制

教育対象者		就業資格	終業時・就業中教育
作業者	一般業務従事者	→ 免許試験・技能講習	雇入時、作業内容変更時教育 定期または随時 危険再認識 高齢時 特別教育 特別教育に準じた教育
	危険・有害業務従事者	→ 就業制限 → 特別教育 → その他危険有害	
安全衛生に係る管理者	安全管理者	→ 選任時研修等 → 免許試験等	能力向上教育
	衛生管理者		
	衛生推進者	→ 養成講習 → 養成講習	能力向上教育に準じた教育 (概ね5年毎等)
	安全推進者		
	作業主任者	→ 免許試験・技能講習	職長教育
	職長		
	作業指揮者	→ 選任、指名時教育	材料作業方法の変更時
	荷役災害防止担当者		
	交通労働災害防止担当者		
	化学物質管理者	→ スタッフ養成専門研修	メンタルヘルス推進のための教育研修
健康保持増進スタッフ			
メンタルヘルス推進担当者	→		
経営トップ	事業者	→	安全衛生セミナー等
	総括安全衛生管理者 管理職		

▶認定と参画

健康経営優良法人 経済産業省



2023
地域の健康課題に即した取組や日本健康会議が進める健康増進の取組をもとに、特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業等の法人を顕彰する制度です。その中でも、ホワイト500は、大規模法人500社以内に入っている証となります。



経営層、労働組合へ取得報告

安全衛生優良企業



労働者の安全や健康を確保するための対策に積極的に取り組み、高い安全衛生水準を維持・改善しているとして、厚生労働省から認定を受けた企業のことです。



労働局長による認定式

スマートライフプロジェクト



厚生労働省・スポーツ庁

食事、運動、けんしん、そして禁煙の4つの柱で「健やかな国ニッポン」を目指します。



人的資本経営コンソーシアム 経済産業省

人的資本経営の実践に関する先進事例の共有や企業間協力に向けた議論、情報の収集・発信と普及を行います。



SAFEコンソーシアム 厚生労働省

従業員の幸せのための安全アクションを推進する活動体です。

▶サプライチェーンやグループ会社に対する安全健康の取組

取引先に対してCSRヒアリングを実施し、法律の遵守および安全衛生の啓蒙を行っております。また、グループ会社を対象とした安全教育も実施し、安全・衛生に対する意見交換、サポートなども行っています。



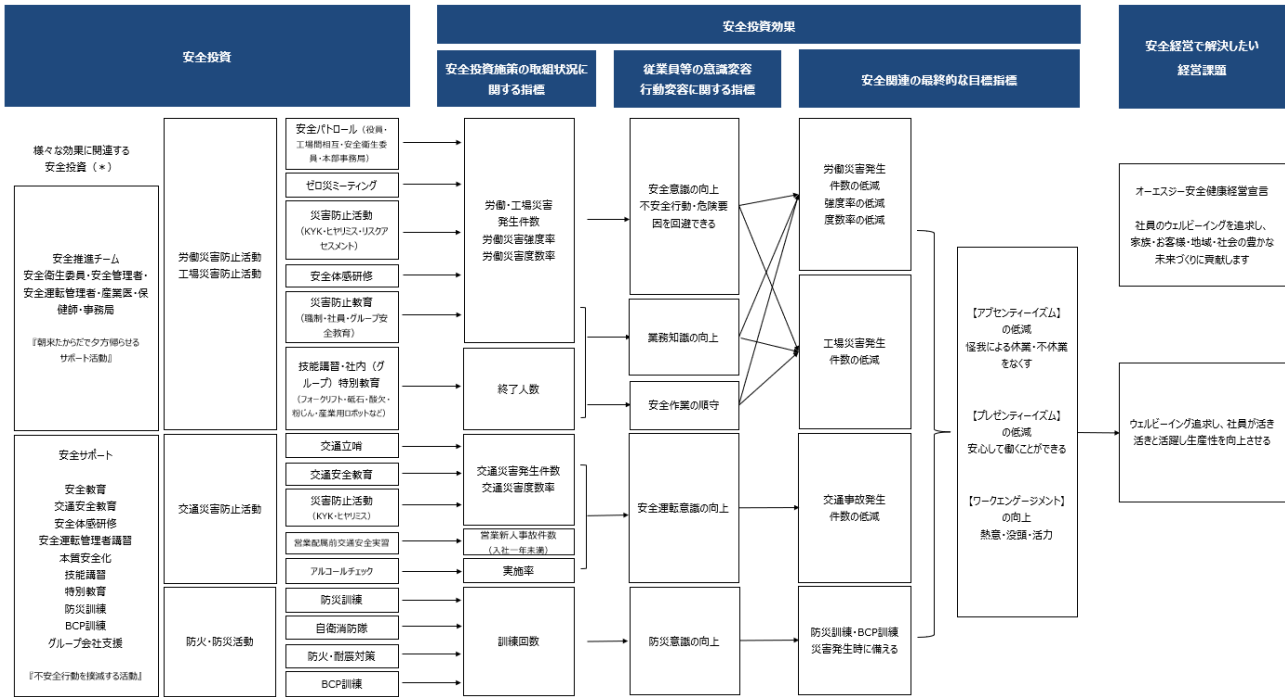
サプライチェーンに対する安全教育



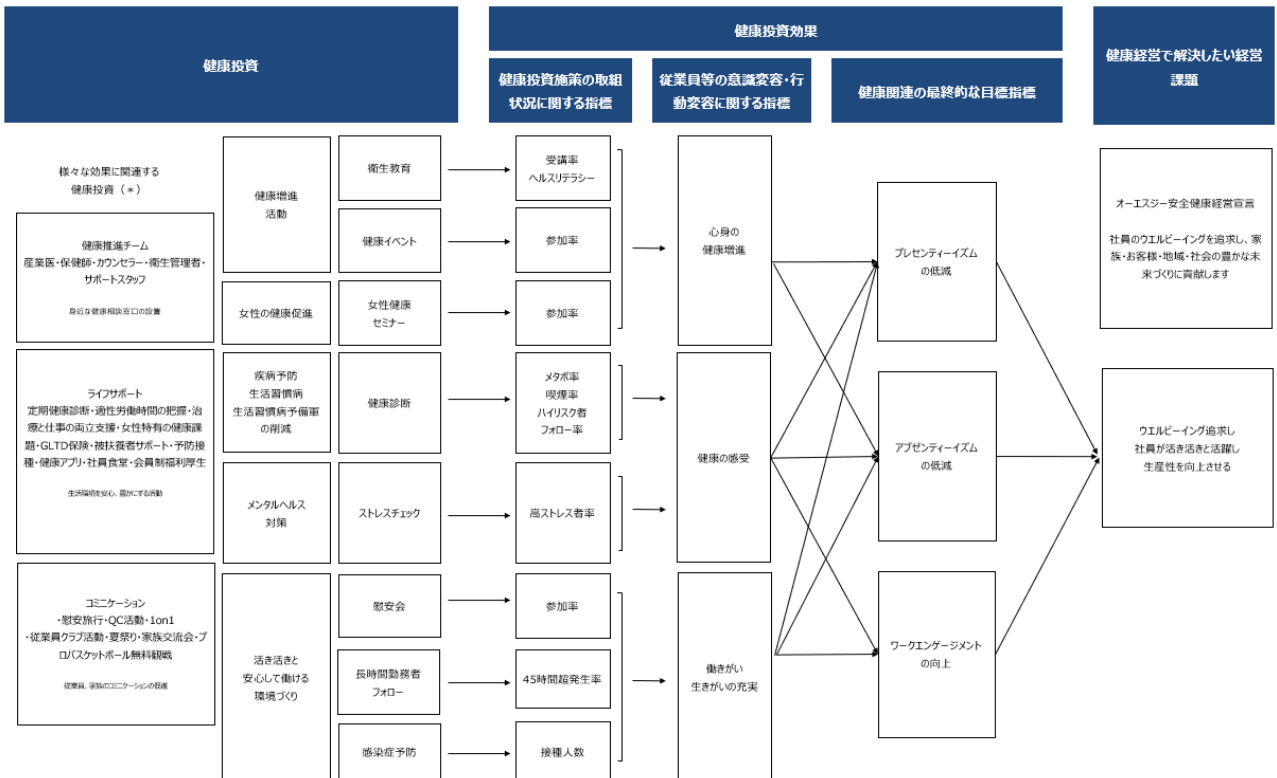
グループ会社に対する安全教育

▶ウエルビーイングを追求した安全と健康戦略マップ

＜安全戦略マップ＞

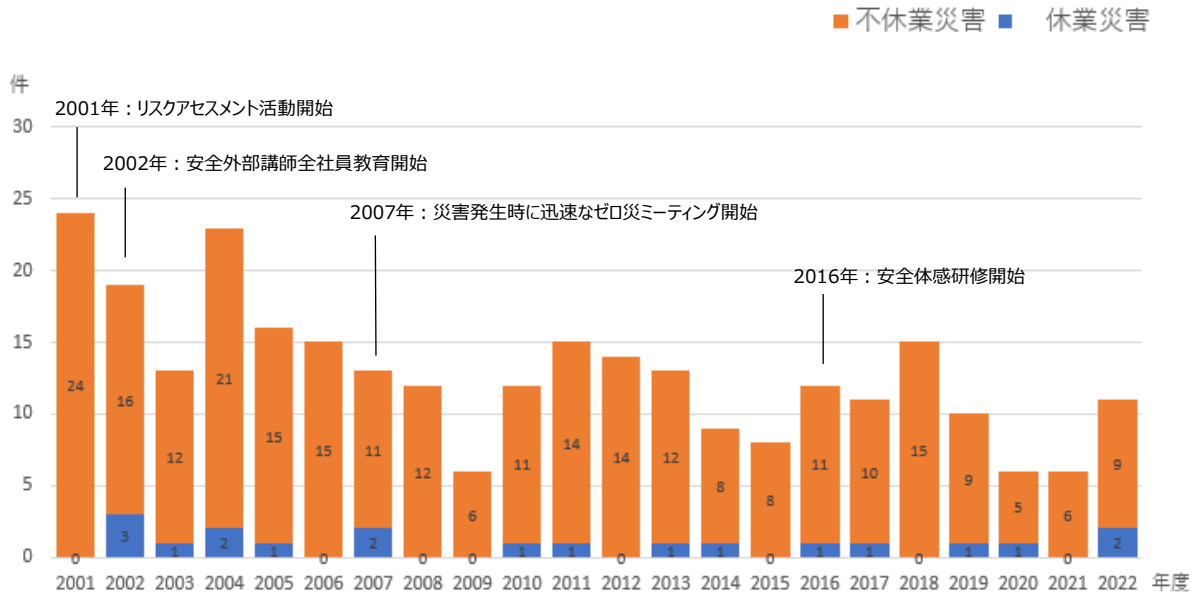


＜健康戦略マップ＞



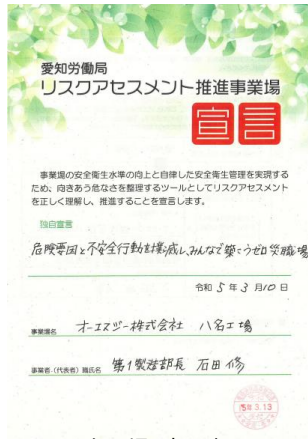
▶労働災害状況

オーエスジー労働災害件数

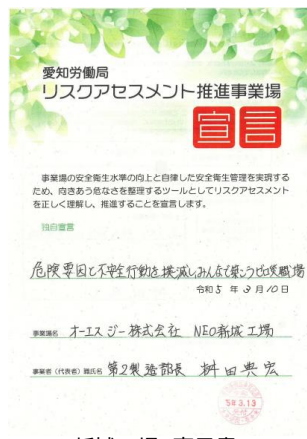


▶愛知労働局 リスクアセスメント推進事業場宣言

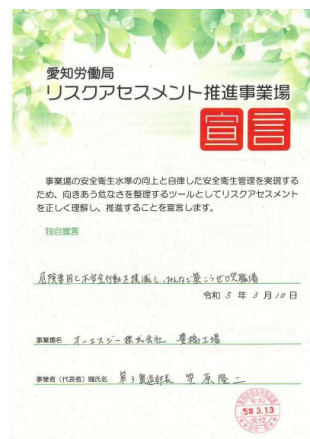
愛知労働局より、リスクアセスメントを通じて、危なさを総合的に評価し自主的に改善を行う事業場であることを宣言することで、安全衛生管理水準の向上を図ることを目的としているものです。各事業所でも自立した安全衛生管理を推進する代表者の決意を宣言しました。



八名工場 宣言書



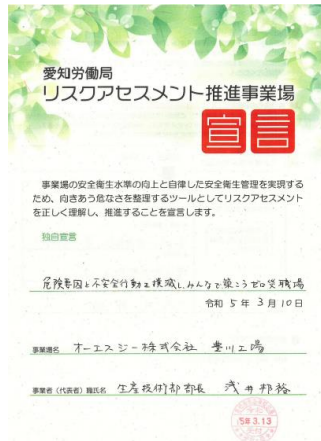
新城工場 宣言書



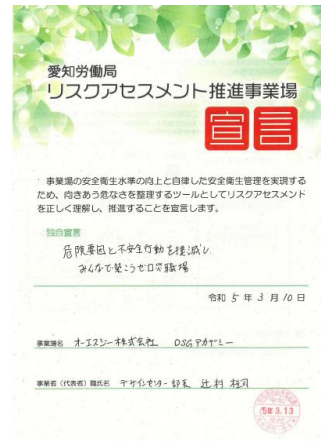
豊橋工場 宣言書



大池工場 宣言書



豊川工場 宣言書



OSGアカデミー 宣言書

▶愛知労働局 安全経営あいち賛同事業場登録

愛知労働局より、「安全経営あいち®」の普及促進に賛同し、「安全経営」に取り組む姿勢と、その基礎となるリスクアセスメントに積極的に取り組む姿勢を示すことを目的としているものです。各事業所で登録が認定となり、賛同事業場登録証が発行されました。



豊橋労働基準監督署 認定式の様子



八名工場 登録証



新城工場 登録証



豊橋工場 登録証



大池工場 登録証



豊川工場 登録証



本社 登録証



アカデミー 登録証

事業所名	施設名	工程	設備名	作業名	作業標準(規心・規心)	実施日	実施者	評価者	評価シート	備考																																																																																			
<p>1. リスク判定基準</p> <table border="1"> <tr> <td>① 作業標準(リスクアセスメント) 認識不足</td> <td>認識不足</td> <td>① 人の危険性(人への影響)</td> <td>H</td> </tr> <tr> <td>② 作業標準(4-14E) A</td> <td>認識不足</td> <td>② 作業標準(4-14E) 遵守状況</td> <td>H</td> </tr> <tr> <td>③ 作業標準(4-14E) B</td> <td>認識不足</td> <td>③ 作業標準(4-14E) 遵守状況</td> <td>M</td> </tr> <tr> <td>④ 作業標準(4-14E) C</td> <td>認識不足</td> <td>④ 作業標準(4-14E) 遵守状況</td> <td>L</td> </tr> <tr> <td>⑤ 作業標準(4-14E) D</td> <td>認識不足</td> <td>⑤ 作業標準(4-14E) 遵守状況</td> <td>L</td> </tr> </table> <p>2. リスク評価</p> <table border="1"> <tr> <th>リスク</th> <th>発生頻度</th> <th>被害</th> <th>評価</th> </tr> <tr> <td>A</td> <td>H-M</td> <td>重大な人身被害</td> <td>重大な人身被害</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>H-M</td> <td>重大な人身被害</td> <td>重大な人身被害</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>L</td> <td>重大な人身被害</td> <td>重大な人身被害</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>L</td> <td>重大な人身被害</td> <td>重大な人身被害</td> </tr> <tr> <td>E</td> <td>H-M</td> <td>重大な人身被害</td> <td>重大な人身被害</td> </tr> <tr> <td>F</td> <td>L</td> <td>重大な人身被害</td> <td>重大な人身被害</td> </tr> </table> <p>3. 危険源記入欄</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">No.</th> <th rowspan="2">対象危険源(具体的)</th> <th colspan="3">抽出時評価</th> <th rowspan="2">対策内容</th> <th rowspan="2">対策方法</th> <th rowspan="2">実施状況</th> </tr> <tr> <th>発生頻度</th> <th>人身の危険性</th> <th>被害の大きさ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>											① 作業標準(リスクアセスメント) 認識不足	認識不足	① 人の危険性(人への影響)	H	② 作業標準(4-14E) A	認識不足	② 作業標準(4-14E) 遵守状況	H	③ 作業標準(4-14E) B	認識不足	③ 作業標準(4-14E) 遵守状況	M	④ 作業標準(4-14E) C	認識不足	④ 作業標準(4-14E) 遵守状況	L	⑤ 作業標準(4-14E) D	認識不足	⑤ 作業標準(4-14E) 遵守状況	L	リスク	発生頻度	被害	評価	A	H-M	重大な人身被害	重大な人身被害	B	H-M	重大な人身被害	重大な人身被害	C	L	重大な人身被害	重大な人身被害	D	L	重大な人身被害	重大な人身被害	E	H-M	重大な人身被害	重大な人身被害	F	L	重大な人身被害	重大な人身被害	No.	対象危険源(具体的)	抽出時評価			対策内容	対策方法	実施状況	発生頻度	人身の危険性	被害の大きさ	1								2								3							
① 作業標準(リスクアセスメント) 認識不足	認識不足	① 人の危険性(人への影響)	H																																																																																										
② 作業標準(4-14E) A	認識不足	② 作業標準(4-14E) 遵守状況	H																																																																																										
③ 作業標準(4-14E) B	認識不足	③ 作業標準(4-14E) 遵守状況	M																																																																																										
④ 作業標準(4-14E) C	認識不足	④ 作業標準(4-14E) 遵守状況	L																																																																																										
⑤ 作業標準(4-14E) D	認識不足	⑤ 作業標準(4-14E) 遵守状況	L																																																																																										
リスク	発生頻度	被害	評価																																																																																										
A	H-M	重大な人身被害	重大な人身被害																																																																																										
B	H-M	重大な人身被害	重大な人身被害																																																																																										
C	L	重大な人身被害	重大な人身被害																																																																																										
D	L	重大な人身被害	重大な人身被害																																																																																										
E	H-M	重大な人身被害	重大な人身被害																																																																																										
F	L	重大な人身被害	重大な人身被害																																																																																										
No.	対象危険源(具体的)	抽出時評価			対策内容	対策方法	実施状況																																																																																						
		発生頻度	人身の危険性	被害の大きさ																																																																																									
1																																																																																													
2																																																																																													
3																																																																																													

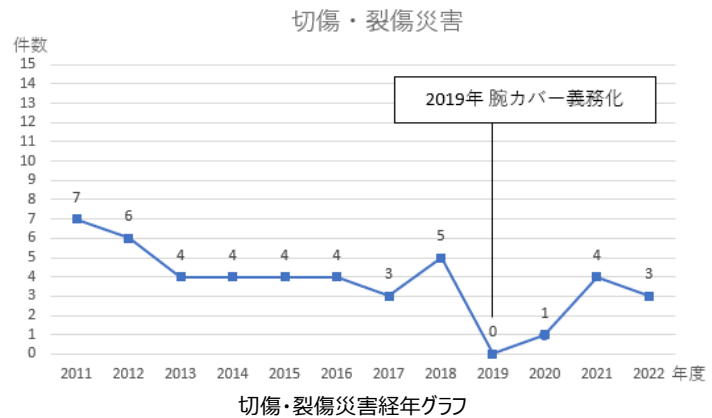
リスクアセスメント 抽出シート

▶腕カバーの義務化

社員安全のため、2019年より「腕カバー」の着用を義務化しています。その結果、切傷・裂傷災害件数が、2000年～2019年の平均値が5件に対し、2019年以降の平均値は2件となりました。



腕カバー着用の様子



▶転倒・つまずき対策

平均年齢が高くなり、勤続年数が長くなるにつれ身体の衰えに気づかないことがあります。そのため転倒を起因とする災害はゼロにはなりません。転倒防止教育やハード的な対策を行っています。



つまずき転倒防止用バリアフリー化（八名工場）



▶安全教育

・管理監督者教育

管理監督者を対象とした安全教育を実施。講師に愛知労働局労働基準部安全課長 濱田勉氏を招き、「リスクアセスメント～労働安全衛生マネジメントを進めるために～」をテーマに出前講座を行いました。



講座の様子

・全社員安全教育

危険作業をあえて経験し安全意識を向上させることを目的に、全社員を対象とした安全体感研修を開始しました。自動化による危険予知能力の低下や、増加する若年層の経験不足を補います。



安全体感研修の様子

・社内特別教育

フォークリフト、砥石、酸欠、粉じん、産業用ロボットの5つの教育を社内の特別教育として実施しています。

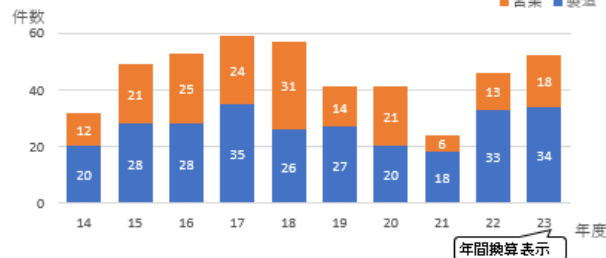


フォークリフト教育の様子

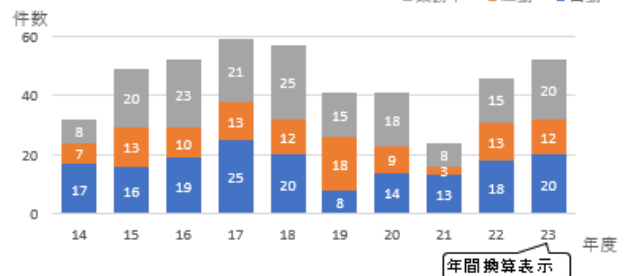
・交通安全教育

交通災害 10年間の発生件数の推移 23年5月まで（23年度）

年度別 発生件数の推移（無過失含む）



時間帯別 発生件数の推移（無過失含む）



警察署から講師を招き、交通講話を実施しています。

交通ビデオでの教育や、営業所向けの交通安全教育も実施するなど、会社全体で交通事故ゼロを目指します。

また、2022年4月1日より施行された改正道路交通法施行規則により、運転者にはアルコールチェッカーを用いて常日頃から数値を測定し、記録管理をしています。



交通講話の様子

7月 安全強調月間

7月は本部安全衛生委員会の月間行事として「安全強調月間」となっています。安全に仕事を行う強調月間です。

- ・営業の方々については交通事故防止に焦点を当て、指導と点検をお願いします。
- ・直近の交通事故の傾向についてもまとめましたので確認してください。

本部安全事務局

営業所向け交通安全教育資料

▶地震災害BCP（事業継続計画）

社員の安全、企業の存続を考え、トップマネジメントのもと地震災害におけるBCPを策定し、訓練を実施しています。

想定地震モデル

南海トラフで繰り返し発生している地震・津波のうち、発生したことが明らかで規模の大きいもの(宝永・安政東海・安政南海・昭和東南海・昭和南海の5地震)を重ね合わせた過去地震最大モデルとしています。

想定BCP資料（一部）

各事業所被災想定										
	事業所名	八名	新城	豊橋	大池	豊川	本宮	DC	本社	本野ヶ原
	所在地	新城市 富岡	新城市 有海	豊橋市 賀茂町	豊川市 一宮町	豊川市 白雲町	豊川市 上長山町	豊川市 一宮町	豊川市 本野ヶ原	豊川市 本野ヶ原
予測震度		6弱	6強	6強	6強	6強	6強	6強	6強	6強
ハザードマップ	地形	砂礫質台地	砂礫質台地	砂礫質台地	砂礫質台地	中位面	砂礫質台地	砂礫質台地	砂礫質台地	砂礫質台地
	液状化の可能性	非常に低い	非常に低い	非常に低い	非常に低い	非常に低い	非常に低い	非常に低い	非常に低い	非常に低い
	表層地盤増幅率	0.87%	1.09%	0.91%	0.99%	1.12%	0.84%	0.99%	1.12%	1.12%
	揺れやすさ	揺れにくい	揺れにくい	揺れにくい	揺れにくい	やや揺れにくい	揺れにくい	揺れにくい	やや揺れにくい	やや揺れにくい
	津波	影響なし	影響なし	影響なし	影響なし	影響なし	影響なし	影響なし	影響なし	影響なし
ライフライン復旧期間	電力	1日～4日 □電力会社からの電力供給ストップ								
	上水道	7日～30日 □水道局からの給水ストップ								
	下水道	7日～21日 □水道局からの給水ストップ								
	ガス	3日～7日 □安全点検後使用可能								
	通信/固定/携帯	1日～4日 □回線不通により通話不能								
	道路	3日～10日 □道路閉鎖又は交通規制等で大規模な交通渋滞								
鉄道	7日～30日 □鉄道は被害をうけ運休・一部限定運転									

注)表層地盤増幅率：1.5以下→揺れにくい、1.5超え→要注意、2.0以上→強い揺れ



BCP訓練の様子

▶全社防災訓練

有事の際、自ら行動できることを目指し防災訓練を実施しています。命を守るため、迅速に防災組織を立ち上げ、初動対応から帰宅困難社員が発生した場合などのサポートができる体制づくりをしています。



防災訓練の様子

▶防災倉庫

各事業所に設置している防災倉庫。有事の際、即時対応出来る様定期的に防災備品の見直しをしています。



防災倉庫

▶OSG健康ミッション25の取り組み

定期健康診断データより、若いうちから「メタボリックシンドローム比率」「喫煙比率」が非常に高いことがわかりました。そこで「健康ミッション25」と題し、2023年度定期健康診断で両比率共に25%まで減らすことを目標とし、各事業所ごとに健康施策を立案し、実施しました。

・各事業所の健康施策

八名工場

喫煙アンケートを実施し、きっかけがあれば禁煙したいという声もあり、たばこ自販機の販売を停止しました。また、工場外周辺ウォーキングを開催。四季折々の景色を楽しみながら気分転換と共に健康意識が高まりました。



八名工場外周



たばこ自販機 販売停止の周知

新城工場



教育の様子

衛生教育を実施し、工場内全社員が受講できるよう3回の講話を行いました。会社全体と工場内のメタボリックシンドローム、喫煙状況を説明し、個々の社員の行動変容を促すためにヘルスマーター設置やウォーキングで自己管理を目指しました。

豊橋工場

“明るく・楽しく健康づくり”をモットーに、工場から山頂までのウォーキングを実施。互いに励まし合い、助け合いながら頂上を目指しました。達成感と山頂での爽快感で、心のリフレッシュとなります。今後も定期的にウォーキング・ハイキング企画を計画し、みんなで楽しく健康づくりを行います。



ウォーキングの様子



大池工場



全員を対象に「喫煙・受動喫煙に関するアンケート」の実施や、「禁煙チャレンジ!!」を紹介し「スワンスワン（吸わん吸わん）禁煙の日」を推進しました。

また、「2023年大池健幸寄せ書き」板を食堂に設置し、健康に関する今年の目標や定期健診に向けての取り組みなど、決意表明を記入しました。

豊川工場



あいち健康プラスアプリ

日々の歩数記録や健康目標の設定、体重・血圧の記録など出来るスマホアプリ「愛知健康プラス企業版」を使用して健康づくりを推進しています。アプリを利用して手軽に、気楽に仲間を増やして、お得情報を獲得しつつ、さらに健康増進していきます。

アカデミー

アカデミーでは、目標である25%を既に下回っているため、「取り組んでいる健康法を教え合い、みんなで健康になろう」という取り組みを実施しました。「人に教えることで自分が頑張っていることを知る」「他の人が健康のために気を付けている方法を知る」を目的に月次朝礼で発表。モチベーション維持・健康への意識向上を目指しました。



朝礼の様子

本社

食事栄養バランスや、ストレッチ紹介、健康管理ができるアプリの紹介など、毎月健康情報を発信し、健康意識向上を目指しました。また、豊川市保健センター主催の「とよかわ健康マイレージ」を活用し、自身で取り組む健康目標を立て、継続的に実践する働きかけをしています。



健康情報の発信

期次	打ち切り	配信日	内容
初回		9/28	OSG健康ミッション25の実施 健康マイレージ
第1期	10/18	10/31	アプリ紹介
第2期	11/21	11/30	講演ビデオチャット おやつ
第3期	12/19	12/26	献立
第4期	1/24	1/31	正月太り解消ストレッチ
第5期	2/21	2/28	定健カウントダウン残り1か月 ステップ1終了 定健カウントダウン残り1か月

配信スケジュール

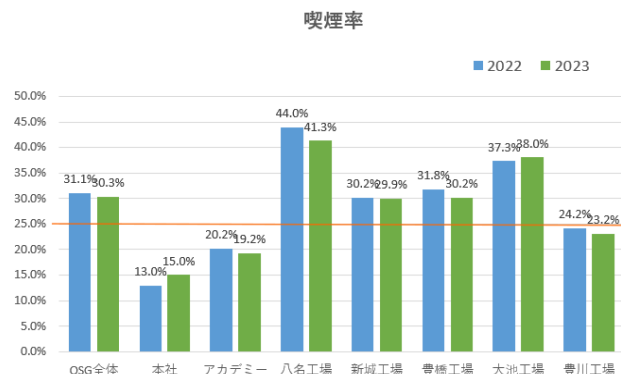
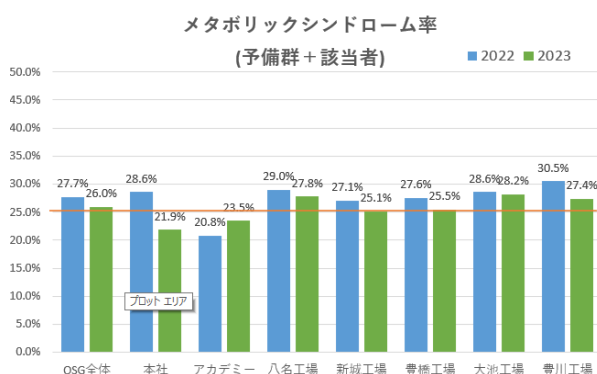
・結果

結果は全体を通して右肩下がり傾向となりました。

取り組み初年度としてはいい結果となり、各衛生管理者を中心とした施策により社員の健康意識向上にも繋がりました。

今後も会社全体を通して健康ミッション25の活動を継続し、メタボリックシンドローム比率、喫煙率共に25%を目指します。

【健康ミッション25】 2022年→2023年 事業所別グラフ

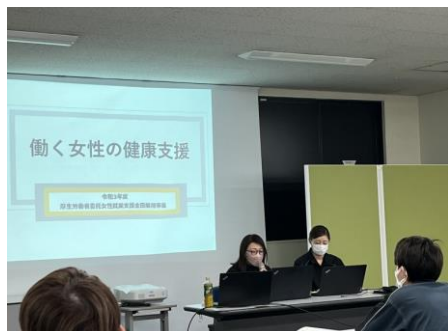


▶ 全社衛生教育

毎年全社員を対象とした衛生教育を実施。保健師による教育資料をもとに衛生について学びます。

▶ 女性健康セミナー

職長教育の中に、産業保健師による「女性健康セミナー」を新たに実施。女性特有の症状や、対する接し方、仕事との両立などを学びます。



教育の様子

▶ 治療と仕事の両立支援

治療と仕事の両立支援について会社方針を定めています。

- ・従業員の気持ちを最優先する。
- ・会社への病名の通知を不要とする。
- ・社内制度にこだわらない柔軟な対応をする。



面談の様子

▶ 休業時の安心「GLTD制度」(団体長期障害所得補償保険)

社員が万が一就業できない状況になっても収入の一部を補償し、安心して働くことのできる環境を福利厚生制度として導入しています。少しでも社員の不安の解消になるように考えています。

▶ ロコモティブシンドロームチェックの実施



実施の様子

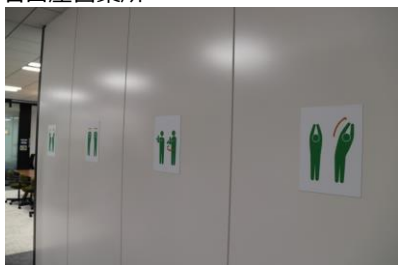
あなたは、片足で40cmの椅子から立ち上がれますか？

「立つ」「歩く」といった身体能力（移動機能）が低下している状態のことをロコモ（ロコモティブシンドローム）といいます。適度に運動する習慣をつけ、健康寿命を延ばすことを目的として、定期健康診断時に自身のロコモ具合を確認できるよう椅子を設置しています。

▶ 営業所の健康意識

営業所のオフィス内にも健康意識を向上させる取り組みをしています。

・名古屋営業所



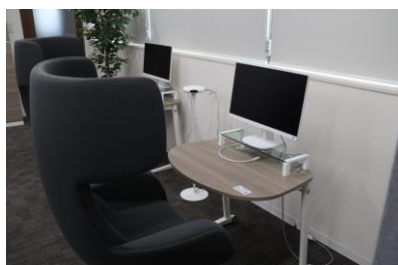
給湯スペース



歩幅マットと視力検査

給湯スペースに簡単ストレッチを掲示。空いた時間に視力検査が出来ることや、健康にいいとされる歩幅をマットに印すなど自然と健康意識を高めます。

・安城営業所



リラックスチェア



リラックスルーム

リラックスルームにバランスボールやリクライニングチェアを配置。壁紙には滝が流れる様子を再現し、より社員のリラックス効果を高めます。

▶食は健康の基本

食のおいしさ

温かいものは温かく。冷たいものは冷たく提供。各事業所にて、目の前で作るライブ調理も行っています。



ライブ調理の様子



喫食例

生まれるコミュニケーション

「楽しく食事ができれば、自然と笑顔とコミュニケーションが生まれる。」というコンセプトのもと、居心地よく、食事時間外もミーティングやオフィススペースとして利用できるようにしています。



zero-oneカフェテリア（新城工場）

健康的な食事

MENU LINEUP

	9月26日 月	9月27日 火	9月28日 水
LUNCH A	揚げ鶏と野菜の甘酢あん 総カロリー 695 kcal	とんかつ 総カロリー 718 kcal	とろろ月見メンチ 総カロリー 812 kcal
ソフ A	アジの塩焼き 総カロリー 608 kcal	江戸あんかけ焼きそば 総カロリー 695 kcal	豚肉ステーキ 総カロリー 712 kcal
LUNCH B	つきこん金平 総カロリー 695 kcal	卵と！野菜の湯-ゆずの酢あんかけ 総カロリー 695 kcal	肉じゃが 総カロリー 695 kcal
ソフ B			

メニュー表

調味料のカロリーを表示することで健康意識を高めます。

野菜多めのメニュー。



カロリー表示

わくわく感

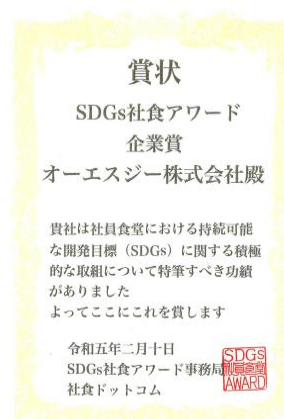


イベントメニュー例

給食スタッフも楽しみながらメニューづくりに協力。時には有名店の食事やイベントメニューも実施し、社員の笑顔づくりに貢献しています。

▶社食アワード

社員食堂のサステナビリティに対する取り組みが認められ、「SDGs社食アワード 企業賞」を受賞しました。SDGs社食アワードは社員食堂におけるサービス、イベントなどによるSDGsの取り組みを表彰するもので、1年間に5回以上SDGsの取り組みを行うなど、一定の基準をクリアした社員食堂を対象に審査されます。OSGは、環境に配慮した「ブルーシーフード」の採用、食品ロス削減のための活動、社員の健康を考えた野菜を多く、塩分を減らした健康的な食事の提供など社員食堂を通じ、誰もが幸せ、笑顔になる活動が評価されました。



SDGs社食アワード企業賞



減塩「しおへらメニュー」

▶社員・家族のコミュニケーションの促進

2020年にはじまったコロナ禍の影響も、徐々に開催できるイベントが増え、以前の環境が戻ってきました。



プロバスケットボール試合観戦の様子



家族工場見学会の様子



▶EV車導入

社有車6台をEV車へ変更し、4事業所にEV充電スタンドを設置しました。
省エネ・省資源対策でカーボンニュートラルな製品と生産体制を目指します。



EV車



EVスタンド

▶オーエスジードリームコート

地域貢献の一貫として、豊川市庭球場のネーミングライツを取得し、「オーエスジードリームコート」としてオープンしました。
元プロテニスプレイヤーの杉山愛さんがイベントのゲストで来場されるなど、幅広い世代と分野で使用されています。



オーエスジードリームコート

杉山愛さんとオーエスジードリームコート

▶東三河安全交流会

JAM東海が主催の東三河安全交流会に労使と安全事務局で参加しました。安心、安全は労使共通の永遠テーマです。
他社と意見交換をしながら交流することで、情報収集や今後の課題を見つける機会となりました。



交流会終了後の集合写真



交流会の様子

▶豊川市主催とよかわ健幸マイレージ賛助

豊川市が主催する「とよかわ健幸マイレージ」に賛助。
健康にまつわる目標を立て、ポイントを貯めて応募をするものです。
豊川市にある本社も参加を予定しています。



とよかわ健幸マイレージ案内用紙

▶スポーツイベントへの賛助

地域で行われる健康イベントへ積極的に賛助、多くの社員が参加しています。



協賛景品のモバイルバッテリーとサーモタンブラーセット



出典元：豊川市役所教育委員会スポーツ課
豊川シティマラソン

▶健康優良法人企業との交流

他社の健康施策を学ぶため、健康優良法人企業へ訪問しました。情報共有や他社と比較することで、日々健康に対する課題を見つけています。



交流の様子

▶献血活動

年2回、日本赤十字社の献血バスが来社。多くの社員が献血活動に協力しています。



献血受付の様子

▶交通安全活動

毎月一回、交通安全活動を実施し、地元の安心、事故抑制に役立っています。



交通安全活動の様子

▶5S活動



本社周辺清掃の様子

▶東海日日新聞掲載



2023年に健康経営優良法人取得、ホワイト500認定を受け、東海日日新聞社から取材を受けました。



掲載記事

©東日新聞

取材の様子

▶普通救命講習

年4回、消防署から講師を招き、希望した社員が普通救命について学びます。再講習希望社員も多く、命に対し真っ直ぐな気持ちを応援しています。



講習の様子

▶消防団活動

社員は地元の安心安全も守るため消防団活動を行っています。



消防団活動の様子



～ 大きなこと・小さなこと ～

オーエスジーでは、安全健康だけではなく、地球・社会・地域も大事にしています。

その一つの取組、持続可能な地球・社会へのオーエスジーの挑戦として地元豊川の「営農型太陽光発電所」と提携をしました。

※営農型太陽光発電所：太陽光パネルの下で農業生産を行う発電所

世界各国に生産拠点をもち当社。本社のある愛知県東三河地域には2000名近い社員が働き、電力消費の大きい工具製造工場が稼働しています。その使用電力は、工場敷地の太陽光発電、省エネ化だけではまかないきれません。

そこで、地域の耕作放棄地を営農型太陽光発電所にかえ電力供給する会社と組み、オーエスジー電力供給専用発電所を確保、2023年2月製造工場へ供給を開始しました。電力の地産地消は、とても珍しく、中部エリア初の取組となりました。

さらなる取組として、この専用発電所で育てられた農作物（ニラ、とうもろこしなど）を製造工場の社員食堂で利用、販売に適さない農作物を廃棄することなく、安定した納入先確保と消費を行います。

また今後、2022年12月に設立した特例子会社オーエスジーアクティブを、発電地の農作業に活用し、地域で不足する農業労働人口を補いながら障がい者の雇用創出をしていく予定です。

※特例子会社：障害者雇用の促進と安定を図るため、障害者の雇用において特別の配慮をする子会社

今回の取組で、年間2000トンのCO2排出量の削減が見込め、2024年には年間2000トンを超えるCO2の削減が出来る専用発電所をさらに確保。育った作物は、社員食堂のみならず、学校給食や道の駅などに販売、その取り組みを学校や多くの人に伝え環境意識の向上の輪を広げることにより寄与できると考えています。

※CO2 4000トン：杉の木約30万本が1年間に吸収するCO2量、東京ドーム76個分の森林に相当。



トウモロコシの芽が育つオーエスジー太陽光発電所



笑顔のオーエスジーアクティブ社員

また、大きなこと、小さなことにかかわらず社員が様々な取組に挑戦できる環境があることは素晴らしいことだと思います。

工場に緑のカーテンを設置したり、障がい者施設や、地元の閑散期のいちご農家を応援したり。

社員ひとりひとりが主体的に考え、「これ、いいね」とまわりが賛同し、実行する。

そんな循環が、ウェルビーイングの向上につながっているんだと思います。



豊橋工場の緑のカーテン



収穫したゴーヤは、社員の食卓へ



障がい者施設産のパン。本日も完売！



地元いちご農家の冷凍いちごかき氷



データベース

組織	2019	2020	2021	2022
従業員数	2,233人	2,121人	2,204人	2,219人
平均年齢	42.1歳	42.3歳	42.5歳	43.1歳
平均勤続年数	18.6年	18.6年	18.8歳	19.3歳
離職率	2.3%	2.4%	1.8%	3.0%

労働	2019	2020	2021	2022
総実労働時間(月平均)	171.8時間	161.7時間	160.6時間	162.0時間
所定外労働時間(月平均)	24.6時間	13.1時間	15.5時間	18.9時間
法定外労働45時間超発生率	23.3%	1.7%	10.8%	9.7%
有給休暇取得率(年間)	60.9%	53.2%	58.8%	65.0%
有給休暇取得日数(年間平均)	10.8日	10.3日	11.7日	11.9日

健康診断	2019	2020	2021	2022
定期健康診断の受診率	99.8%	99.8%	99.8%	100%
精密検査(再検査)の受診率	6.8%	6.2%	31.0%	29.7%
有所見者率	50.7%	49.3%	49.0%	49.7%
保健指導実施率	62.4%	100%	100%	100%

生活習慣	2019	2020	2021	2022
20歳から体重が10kg以上増加している人の割合	33.3%	33.7%	32.4%	32.2%
朝食を抜くことが週3回以上ある人の割合	15.6%	15.8%	16.1%	16.6%
就寝2時間以内に夕食をとることが週3回以上ある人の割合	21.3%	17.2%	17.7%	17.8%
朝昼夕の3食以外に間食や甘い飲み物を接種する人の割合	17.6%	16.3%	17.1%	17.7%
30分以上の運動を週2日以上している人の割合	18.9%	22.2%	24.3%	24.1%
歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上行う人の割合	26.1%	29.5%	31.2%	31.4%
睡眠で休養が十分とれている人の割合	43.8%	52.3%	48.5%	50.0%
生活習慣の改善中の人の割合	29.9%	33.7%	36.0%	36.7%
従業員のヘルスリテラシー	-	-	-	3.25
メタボリックシンドローム比率(予備群含む)	31.3%	27.8%	27.9%	27.7%
血圧治療者率	10.0%	10.3%	11.0%	11.9%
血糖治療者率	3.5%	3.9%	3.9%	4.1%
脂質治療者率	7.1%	7.3%	7.5%	7.9%
高血圧者のうち治療中	172人	179人	193人	213人
疾病による休職者発生率(年間)	0.28%	0.06%	0.43%	0.33%
適正体重者率(40歳以上)	68.1%	66.8%	65.4%	66.5%
喫煙率(40歳以上)	33.4%	32.8%	32.8%	31.0%
運動習慣者比率(40歳以上)	18.2%	23.0%	23.4%	23.3%
適正睡眠者比率(40歳以上)	41.0%	50.0%	44.5%	45.4%
飲酒習慣者率(40歳以上)	12.5%	12.6%	12.2%	10.3%
血圧リスク者率(40歳以上)	0.7%	0.7%	0.7%	1.2%
血糖リスク者率(40歳以上)	0.8%	0.4%	0.0%	0.4%
糖尿病管理不良者率(40歳以上)	1.4%	1.3%	0.8%	1.2%

労働災害	2019	2020	2021	2022	
労働災害率	度数率	0.267%	0.298%	0.000%	0.554%
	千人率	0.524%	0.538%	0.000%	1.063%
	強度率	0.00053%	0.00358%	0.00000%	0.01635%
労働災害により損失した労働時間	80時間	48時間	48時間	88時間	

安全	2019	2020	2021	2022
安全体感研修の参加者数	-	-	80人	200人
管理監督者安全教育の参加者数	226人	-	68人	70人
社内特別教育の参加者数	216人	111人	88人	307人

衛生	2019	2020	2021	2022
衛生教育受講率	—	—	—	96.7%
健康施策参加率	—	—	—	—
健康施策参加への満足度	—	—	—	97.7%
女性教育参加率	—	—	—	82.3%
職場慰安旅行参加率	72.0%	中止	中止	中止
慰安旅行補助金額	1492万円	—	—	—
予防接種人数	1685人	1725人	1436人	1290人

メンタルヘルス	2019	2020	2021	2022
ストレスチェック受検率	77.2%	96.7%	94.6%	81.9%
高ストレス者率	13.2%	11.6%	13.4%	11.6%
仕事の量的負担の平均得点	8.5点	8.19点	8.3点	8.5点
仕事のコントロールの平均得点	8.49点	8.41点	8.5点	8.5点
上司の支援の平均得点	7.9点	7.92点	8点	8.2点
同僚の支援の平均得点	8.08点	8.1点	8.1点	8.1点

パフォーマンス指標		2020	2021	2022	2023
プレゼンティーズム		—	—	86.3	80.9
アブセンティーズム		2.97	1.20	1.45	(未集計)
エンゲイジメント	活力	—	—	3.08	3.01
	熱意	—	—	3.58	3.5
	没頭	—	—	3.1	3.13
	平均	—	—	3.25	3.21
測定人数	プレゼンティーズム	—	—	573人	454人
	アブセンティーズム	—	—	2219人	2186人
	エンゲイジメント	—	—	573人	454人
回答率	プレゼンティーズム	—	—	25.8%	20.8%
	アブセンティーズム	—	—	100%	100%
	エンゲイジメント	—	—	25.8%	20.8%

<測定方法>

プレゼンティーズム：東大1項目版 / アブセンティーズム：欠勤・休職平均日数 / エンゲイジメント：UWES尺度